



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

会社名 株式会社 静岡中央銀行

URL <http://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清野 真司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 平山 浩二

TEL 055-962-6113

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,528	△9.4	906	△34.3	646	△34.0
2019年3月期第1四半期	3,896	0.4	1,380	4.8	980	4.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 460百万円 (△36.8%) 2019年3月期第1四半期 729百万円 (△48.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	26.93	—
2019年3月期第1四半期	40.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	704,056	47,793	6.7
2019年3月期	691,692	47,392	6.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 47,793百万円 2019年3月期 47,392百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,320	0.7	1,630	1.0	67.91
通期	3,940	0.5	2,740	0.5	114.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 —社（社名）
、除外 —社（社名） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	24,000,000株	2019年3月期	24,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	—株	2019年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	24,000,000株	2019年3月期1Q	24,000,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

- ・四半期決算補足説明資料は、当第1四半期決算短信に添付しております。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6
5. 補足情報【2020年3月期 第1四半期 決算説明資料】	7
(1) 損益の状況（単体）	7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示（単体）	8
(3) 自己資本比率（国内基準）	8
(4) 時価のある有価証券の評価差額（単体）	9
(5) デリバティブ取引（単体）	9
(6) 預金・貸出金の残高（単体）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、政府による経済政策を背景に企業収益や雇用環境の改善が続いている一方で、米中貿易摩擦問題の長期化や海外経済の減速懸念から、円高が進行するなど、景気の先行きはやや不透明な状況にあります。また、当行の主要な営業エリアである静岡県・神奈川県の地域経済におきましても、緩やかな回復基調にあるものの、足許では、景況感に一部弱さが見られております。

このような状況下、当行は、第12次中期経営計画『進化II』において、行動指針「Change(改革) & Challenge(挑戦)」のもと、基本方針の柱である「お客様中心主義」を進化させ、あらゆる場面でお客様との接点を深め、細部に亘るマーケティングを実践し、地域の皆さまやお客様のニーズに合った商品・サービスの提供、諸施策の推進に努めてまいりました。その結果、着実にお客様が増加し、次のような成果を収めることができました。

当第1四半期の連結ベースの経営成績は、以下の単体の経営成績を主因とし、経常収益は35億28百万円、経常費用は26億21百万円となりました。その結果、経常利益は9億6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億46百万円となりました。

【単体の経営成績】

① 預金・貸出金

預金につきましては、地域振興を目的とした地元商店街等との連携による「お買い物券付定期預金」や、年金関連定期預金「バースデー」等の年金関連サービスを中心に、お客様のニーズに合った商品・サービスの提供に努め、積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、当第1四半期末の預金残高は前年同期末比122億82百万円1.9%増加の6,276億53百万円となりました。

貸出金につきましては、「訪問頻度管理」の質的向上に取り組む中、地域の企業や個人のお客様のニーズを定期的な顧客訪問によって把握し、「本業支援ヒアリングシート」活用により、事業承継や各種補助金申請のサポート等、特に製造業を中心とした地元中小企業への積極的な支援、金融仲介機能の更なる発揮に努めてまいりました。その結果、当第1四半期末の貸出金残高は前年同期末比149億72百万円3.0%増加の5,120億46百万円となり、うち中小企業等向け貸出金は前年同期末比177億28百万円3.8%増加の4,790億58百万円、貸出金に占める中小企業等向け貸出金比率は93.5%となりました。

② 利益

当第1四半期の経常収益につきましては、資金運用収益が増加し、貸出金利息が9年振りに増加に転じるなど、本業が堅調に推移したものの、有価証券関係収益の減少等により、前年同期比3億80百万円9.7%減収の35億10百万円となりました。

経常費用につきましては、有価証券関係費用の増加等により、前年同期比87百万円3.4%増加の26億38百万円となりました。

上記により、経常利益は、前年同期比4億67百万円34.8%減益の8億71百万円となり、四半期純利益は、前年同期比3億29百万円34.4%減益の6億26百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比123億63百万円増加（前年同期末比115億52百万円増加）の7,040億56百万円となり、純資産は、前連結会計年度末比4億0百万円増加（前年同期末比27百万円増加）の477億93百万円となりました。

総負債は、前連結会計年度末比119億63百万円増加（前年同期末比115億25百万円増加）の6,562億63百万円となりました。

主な内訳として、貸出金は、前連結会計年度末比47億47百万円増加（前年同期末比149億72百万円増加）の5,120億46百万円となり、預金は、前連結会計年度末比124億74百万円増加（前年同期末比119億34百万円増加）の6,260億95百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表した業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
(資産の部)		
現金預け金	46,550	59,398
金銭の信託	990	1,001
有価証券	124,294	119,238
貸出金	507,298	512,046
その他資産	3,898	3,916
有形固定資産	8,554	8,506
無形固定資産	653	569
退職給付に係る資産	28	29
繰延税金資産	649	630
支払承諾見返	225	223
貸倒引当金	△1,453	△1,503
資産の部合計	691,692	704,056
(負債の部)		
預金	613,620	626,095
借用金	23,790	22,711
その他負債	3,648	4,503
賞与引当金	392	195
役員賞与引当金	42	—
退職給付に係る負債	403	406
役員退職慰労引当金	533	549
睡眠預金払戻損失引当金	18	18
偶発損失引当金	259	193
再評価に係る繰延税金負債	1,366	1,366
支払承諾	225	223
負債の部合計	644,299	656,263
(純資産の部)		
(株主資本)		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	0	0
利益剰余金	40,607	41,193
株主資本合計	42,608	43,193
(その他の包括利益累計額)		
その他有価証券評価差額金	1,748	1,555
土地再評価差額金	3,141	3,141
退職給付に係る調整累計額	△106	△98
その他の包括利益累計額合計	4,784	4,598
純資産の部合計	47,392	47,793
負債及び純資産の部合計	691,692	704,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
経常収益	3,896	3,528
資金運用収益	2,732	2,751
(うち貸出金利息)	(1,956)	(1,967)
(うち有価証券利息配当金)	(771)	(780)
役務取引等収益	280	270
その他業務収益	133	80
その他経常収益	749	425
経常費用	2,515	2,621
資金調達費用	122	115
(うち預金利息)	(122)	(115)
役務取引等費用	324	335
その他業務費用	—	50
営業経費	1,980	1,882
その他経常費用	87	237
経常利益	1,380	906
特別利益	—	—
特別損失	0	6
固定資産処分損	0	6
税金等調整前四半期純利益	1,380	899
法人税、住民税及び事業税	258	151
法人税等調整額	142	101
法人税等合計	400	253
四半期純利益	980	646
親会社株主に帰属する四半期純利益	980	646

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	980	646
その他の包括利益	△250	△185
その他有価証券評価差額金	△253	△193
退職給付に係る調整額	3	8
四半期包括利益	729	460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	729	460

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報【2020年3月期 第1四半期 決算説明資料】

(1) 損益の状況 (単体)

- 「コア業務純益」は、資金利益（資金運用収益－資金調達費用）が第1四半期ベースで2年連続増加し、貸出金利息が9年振り、預貸金利益（貸出金利息－預金利息）も2年振りに増加に転じるなど、本業が堅調に推移、経費削減等も寄与し、前年同期比97百万円16.5%2年連続増益の6億85百万円となりました。また、「コア業務純益（除く投資信託解約損益）」は、前年同期比1億88百万円59.2%増益の5億5百万円となりました。
- 「経常利益」は、上記のとおり、本業が堅調に推移したものの、有価証券関係損益の減少等により、前年同期比4億67百万円34.8%減益の8億71百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月期	前年同期比	2019年3月期	2019年3月期
	第1四半期		第1四半期	
業務粗利益	2,542	△98	2,640	9,564
コア業務粗利益 (注1)	(2,511)	(4)	(2,506)	(9,174)
資金利益	2,644	25	2,619	9,595
預貸金利益	1,851	17	1,833	7,404
役務取引等利益	△133	△21	△112	△420
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益(5勘定戻))	30 (30)	△102 (△102)	133 (133)	390 (390)
経費(除く臨時処理分) (△)	1,825	△92	1,918	7,389
人件費 (△)	937	△41	979	3,783
物件費 (△)	761	△45	807	3,184
税金 (△)	126	△5	131	421
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前) (注2)	716	△5	722	2,175
コア業務純益 (注3)	685	97	588	1,784
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	505	188	317	1,040
①一般貸倒引当金繰入額 (△)	1	1	—	—
業務純益	715	△7	722	2,175
うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	30	△102	133	390
臨時損益	156	△460	616	1,520
②不良債権処理額 (△)	49	49	—	—
個別貸倒引当金繰入額 (△)	49	49	—	—
③貸倒引当金戻入益	—	△31	31	153
④偶発損失引当金戻入益	66	△0	66	63
償却債権取立益	0	—	0	0
株式等関係損益(3勘定戻)	275	△372	647	1,563
その他臨時損益	△135	△5	△129	△259
退職給付費用 (△)	11	6	4	19
経常利益	871	△467	1,339	3,695
特別損益	△6	△6	△0	△28
固定資産処分損益	△6	△6	△0	△28
税引前四半期純利益	865	△473	1,339	3,667
法人税、住民税及び事業税 (△)	132	△113	246	974
法人税等調整額 (△)	106	△31	137	119
四半期純利益	626	△329	955	2,573
与信費用(①+②-③-④)	△15	83	△98	△216
コア業務粗利益OHR (注4)	72.6%	△3.8%	76.5%	80.5%

- (注1) コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 国債等債券関係損益
(注2) 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額
(注3) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益
(注4) コア業務粗利益OHR = 経費 ÷ (業務粗利益 - 国債等債券関係損益)

(2) 金融再生法ベースの категорияによる開示 (単体)

- 2019年6月末の「金融再生法ベースの開示債権額」は、前年同期末比5億24百万円減少の60億89百万円となり、総与信に占める割合は同0.14ポイント低下の1.18%となりました。

(単位：百万円)

	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,869	1,911	1,919
危険債権	3,821	4,481	4,000
要管理債権	398	221	399
合計	6,089	6,613	6,319
総与信残高 (末残)	512,632	497,607	507,892
総与信に占める開示債権額の割合	1.18%	1.32%	1.24%

(注1) 記載金額は単位未満を、比率は小数点第3位を切り捨てて表示しております。

(注2) 上記の四半期末(2019年6月末)の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しておりますが、集計方法については、以下の点につき年度末又は中間期末に開示する計数とは異なるため計数は連続していません。

○2019年6月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分(※)をベースとし、同年3月末から6月末までの倒産、不渡り、延滞等の客観的事実のほか、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、2019年6月末残高にて開示しております。

○2019年6月末の「要管理債権」の金額は、同様に同年3月末時点における「要管理債権」をベースとし、同年3月末から6月末までに新たに「要管理債権」となった貸出債権、および回収状況ならびに債務者区分の変更を勘案し、2019年6月末残高にて開示しております。

※債務者区分との関係

- ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)
- ・危険債権 (破綻懸念先の債権)
- ・要管理債権 (要注意先のうち、元本又は利息の支払が3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

(3) 自己資本比率 (国内基準)

- 2019年9月末の「連結自己資本比率」は、10.7%程度を予想しております。
○ 2019年9月末の「単体自己資本比率」は、10.6%程度を予想しております。

	2019年9月末 (予想値)	2019年3月末 (実績)	2018年9月末 (実績)
連結 自己資本比率	10.7% 程度	10.68%	10.73%
単体 自己資本比率	10.6% 程度	10.51%	10.57%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(4) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

- 2019年6月末の「時価のある有価証券の評価差額」は、前年同期末比31億23百万円減少の21億43百万円となりました。

(単位：百万円)

	2019年6月末				2018年6月末				2019年3月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	116,457	2,143	6,346	4,202	131,499	5,267	7,499	2,232	121,606	2,453	6,448	3,995
株式	22,159	1,146	4,211	3,065	25,618	4,866	5,926	1,059	22,865	1,793	4,525	2,732
債券	59,918	1,110	1,114	3	72,651	601	631	29	65,610	906	954	47
その他	34,379	△113	1,020	1,134	33,229	△200	942	1,143	33,130	△247	968	1,215

(注1) 2019年6月末の「評価差額」及び「含み損益」は、同年6月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

(注2) 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(5) デリバティブ取引 (単体)

該当ございません。

(6) 預金・貸出金の残高 (単体)

① 預金の状況

- 2019年6月末の「預金残高」は、前年同期末比122億82百万円1.9%増加の6,276億53百万円となり、うち個人預金は同48億27百万円1.1%増加の4,382億4百万円となりました。

(単位：百万円)

	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末
預金(未残)	627,653	615,371	615,153
うち個人預金	438,204	433,377	434,959
うち法人預金	189,448	181,994	180,194
預金(平残)	612,030	596,858	600,638

② 貸出金の状況 ~貸出金(平残)初の5,000億円を突破~

- 2019年6月末の「貸出金残高」は、前年同期末比149億72百万円3.0%増加の5,120億46百万円となり、うち中小企業等向け貸出金は4,790億58百万円、中小企業等向け貸出金比率は93.5%となりました。

(単位：百万円)

	2019年6月末	2018年6月末	2019年3月末
貸出金(未残)	512,046	497,074	507,298
うち中小企業等向け貸出金	479,058	461,329	474,503
中小企業等向け貸出金比率	93.55%	92.80%	93.53%
うち消費者ローン	161,627	157,028	161,130
うち住宅ローン	155,922	152,125	155,679
うちその他ローン	5,705	4,903	5,450
貸出金(平残)	503,589	489,726	495,081

以上